

薬だつ知識

薬の購入にインターネットを利用する人が増えてきました。国が進める規制緩和により、制限付きながら、医薬品がいつでもどこでも購入できるようになり、便利な時代になりました。

役所に必要書類を提出するなどの規制はありますが、外国から医薬品などを個人輸入することもできます。インターネットの世界は国の垣根を超えてつながっているのです。薬によっては、日本で購入するよりも安く買えたり、国内では規制があつて購入できないものを簡単に手に入れたりすることがあります。

では、個人輸入した薬は本物なのか。種類によっては、個人輸入された薬の半数程度は偽物との情報もあります。

この偽物、ただ効果がないだけならまだしも、健康被害をもたらす成分が含まれていること

健康を害する偽物も

12. 薬の個人輸入

もあります。健康を守るための薬で病気になるってしまったのは本末転倒です。

医薬品は、対面で直接手渡すのが基本です。薬剤師、登録販売員などが面談し、体の調子やアレルギー、副作用などを確認しながら安全面に配慮して販売

します。ただ、決して全てのインターネット販売が危険と言

うことはありません。信用がある会社のサイトで購入するよう

にしましょう。

全ての薬を信頼できる薬剤師に相談しながら購入することが健康推進につながります。ぜひかかりつけ薬剤師を持つてください。

(鹿児島県薬剤師会専務理事
小田原一弘)

読者の皆さんから今後取り上げてほしいテーマを募集しています。はがきかファクス099(254)612911でお寄せください。〒890-8589 鹿児島市与次郎2-18-1 県薬剤師会「薬だつ知識」の薬、一般用医薬品に関わらず、係まで。



薬をインターネットで買うときは信頼できるサイトを選ぶ